

新潟県中越沖地震被災地支援活動レポート



激しく倒壊した家屋(柏崎市)

七月十六日午前十時十三分頃、新潟県中越沖を震源とする大きな地震が発生した。特に、新潟県柏崎市など震度6強を観測し、家屋の倒壊や道路の陥没や隆起など、甚大な被害となった。

大崎市では、災害現場での活動経験者や保健師、社会福祉協議会の職員で編成した、十名一チームの災害支援活動チームを第一陣先発隊として、新潟県柏崎市の災害復興支援へ向け、七月十九日午前八時三十分、大崎市役所を出発。先発隊として、被害の状況や災害ボランティアセンターの状況、被災者の心のケアの支援など三つ

の状況を把握し、今後、高い確率で発生するといわれている宮城県沖地震に備える為、被災された方々への災害支援活動を通じて、大崎市としての災害時の対応や体制などを学んできた。

甚大な被害があった新潟県柏崎市へは、東北自動車道を抜け磐城自動車道を経由し、関越自動車道に入る、柏崎市が近づくにつれ、高速道路の繋ぎ目や路側帯など地震による隆起や陥没が見られ、片側1車線走行や速度制限により、渋滞が発生していた。柏崎市に降りると、市内は、全壊家屋や、斜めに寄りかかっている家屋も多数見受けられ、また、道路も通行止め箇所が多々あった。市内は、災害復旧作業の車両や自衛隊の支援活動車で混雑しており、柏崎市災害ボランティアセンターに着すると、全国から駆けつけたボランティア約三百名の方がたが既に活動を始めていた。活動は一般家庭の家屋内の片付けや避難所のお世話などの活動が主であった。

二日目以降から災害ボラン

ティアセンターへ登録し、ボランティアの手を必要としている家庭への活動を中心に行い、派遣された家庭では、タンスや食器棚が倒れ、家の中は、ガラスの破片や棚から落ちた物で散乱しており、家族の方は、避難所と自宅の往復で片付けをしていたが、疲労も重なりボランティアセンターへ依頼したとのことであった。また、柏崎市内の避難所をまわつてのニーズ調査(ニーズ=依頼したいこと)を行い、その中でも、暑さが増してきていたためか、避難所の衛生面を話す方々が多く目立った。

今回の災害支援活動を通じて、今後の宮城県沖地震に備え、私たちが今すぐできることは、①家具の転倒防



ボランティア活動登録受付(柏崎市災害ボランティアセンター)

止、②最低三日分の非常食・持ち出し用具の点検(水は二日三リットル)、③家族や近隣の方々との非常時の連絡先や声かけなど、みんなで災害時について話し合う、④自主防災組織や地域の防災訓練などに参加し、自分の地域を再点検する。少なくとも私が感じたこの四点について地域において点検が必要と思われる。社会福祉協議会でも、地域の方々と連携、協働しながら、災害時の体制整備を図って行くことをお誓いし、災害派遣レポートとする。

大崎市協 岩出山支所
主事 鹿野 渉



被災家屋内での家具解体作業

ボランティア volunteer

ボランティアセンターだより

2007.10

大崎市ボランティアセンター



鹿島台 災害ボランティア 研修会を開催しました

8月17日(金)鎌田記念ホールで開催した研修会には26名の参加があり、「北部地震を振り返って」ボランティア友の会の2名より体験談をいただき、宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター北川進所長から「被災地における災害ボランティアの活躍と地元住民の役割」について学びました。

平成十五年七月に発生した「宮城県北部連続地震」から早くも四年を経過しました。

「災害は忘れたころにやってくる」とはよく言われておりますが、今年七月には新潟県中越沖を震源とした災害があり、大崎市社会福祉協議会としても、大崎市と合同で被災地に職員を派遣し被災者の方々の支援を行ってきております。近い将来に高い確率で発生するといわれている宮城県沖地震に備え、大崎市社

会福祉協議会は災害ボランティアセンターの体制整備について準備を進めております。しかし、住民の方々の日常的な防災への取組みや、生活復興活動に大きな力を発揮する災害ボランティアとの関わりを理解しておくことが必要です。

大崎市ボランティアセンターとしては、災害に関する研修会を各地域で開催し、大崎市市民の皆さんと共に日ごろから災害に備え、誰もが住みよいまちづくりを目指したいと考えております。

松山 災害支援研修会を 開催いたします

①地域福祉講座

- 日時:平成19年10月10日(水) 10:00~12:00
- 会場:松山保健福祉センター「さんさん館」(大崎市松山千石字広田11)
- 内容:「災害用伝言ダイヤルとは?」
講師 NTT東日本仙台職員

②災害ボランティアセンター設置訓練

- 日時:平成19年11月17日(土) 10:00~14:00
- 会場:松山保健福祉センター「さんさん館」(大崎市松山千石字広田11)

●お問い合わせ:大崎市社会福祉協議会 松山支所
電話 0229-55-4546



災害ボランティア シンポジウム

~災害時要援護者の支援について考える~

災害が発生した場合、災害時要援護者(高齢者・障害者)の方は、早急に避難することが困難な場合があります。災害に向けた災害時要援護者に対する日常的な取り組みや実際の被災地での災害ボランティアや地元住民との関わりを確認しましょう。

- 主催/社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 ■共催/社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会
- 日時/平成19年12月2日(日) 13:30開会 16:00閉会
- 会場/田尻文化センター(大崎市田尻部字富岡166)
- 内容/基調講演「災害ボランティアの活躍と被災地の復興」
シンポジウム「災害時要援護者の支援を考える」~災害に向けた取り組み・災害時に本当に必要な支援とは~
- 対象者/一般県民 ■定員/400名 ■参加費/無料
- お問い合わせ/宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター 電話 022-222-0010
大崎市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉班 電話 0229-21-0550